

美術館講座 (全4回)

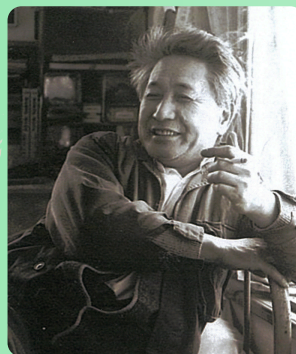
莞蕾を知ろう

戦後80年

平和を求め続けた画家・加納莞蕾（本名：加納辰夫）。フィリピン大統領をはじめ、多くの要人たちに日本人フィリピンBC級戦犯助命嘆願書を送り、世界平和を求め続けました。

加納美術館では今年度、莞蕾について深く知るための連続美術館講座を開催します。

生い立ち・平和思想・人柄・嘆願活動の時代背景など、講演会では聞けない詳しく深い内容を、参加者の皆さんとディスカッションを交え楽しみながら学びませんか？



時間 各日 10:00～11:30

会場 布部交流センター
(安来市加納美術館となり)

定員 40名 **参加費** 無料

問い合わせ 0854-36-0880

要予約 開催日の前日までにお申し込みください

✓ 連続講座ですが、1回のみ参加も可能です

主催 安来市 安来市教育委員会 安来市加納美術館

協力 布部交流センター 布部の未来を考える会 安来市平和のつどい実行委員会

講師紹介 加納 佳世子 (当館名誉館長)

加納莞蕾四女、1944年 京城 (現 韓国 ソウル) に生まれる。学校教員を退職後、2011年から2015年まで当館館長を務める。莞蕾の平和思想を後世へ伝えるため各地で講演を多数開催している。

著書：『画家として平和を希う人として』
『世界の子どもが幸せにならねば平和はこない』 他

プログラム 10:00～ 講座開始

11:00～ 質疑応答&ディスカッション

第1回

莞蕾を知ろうⅠ

6.7土

戦争と莞蕾 — 画家として何を感じていたのか

画家として戦争のなかで莞蕾は何を感じ、どう思っていたのでしょうか。当時の日記・手帳などから読み解きます。

第3回

莞蕾を知ろうⅢ

8.2土

村長は何をする人？ — 村長としての莞蕾

1953年7月のキリノ大統領による戦犯赦免をうけ、莞蕾は「ここから平和へのスタートだ」と言い、布部村長に選ばれました。彼の村政を振り返ります。

第2回

莞蕾を知ろうⅡ

7.5土

興福寺 (布部) と莞蕾はどう関係がある？

「世界平和を築くためには…」と模索していた莞蕾がたどり着いたのは、宗教の違いを超えての平和でした。莞蕾は興福寺の主座となり嘆願書を送り続けます。

第4回

莞蕾を知ろうⅣ

9.6土

戦後80年 — 今、莞蕾が生きていたら...

今、世界では争いが続いています。「決して、第3次世界大戦となってはならないのだ」と言い続けていた莞蕾が今の状況を知ったら何と言うのでしょうか。



平和を願い続ける美術館

安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部 345-27
TEL 0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp/>
開館時間 9:00～16:30 (入館は16時まで)
休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

